

神経内科

Neurology

教授	田中耕太郎	Kortaro Tanaka
准教授	高嶋修太郎	Shutaro Takashima
助教	田口 芳治	Yoshiharu Taguchi
助教	道具 伸浩	Nobuhiro Dougu
医員	温井 孝昌	Takamasa Nukui
医員	小西 宏史	Hirofumi Konishi
医員	吉田 幸司	Koji Yoshida
医員	林 智宏	Tomohiro Hayashi
医員	山本 真守	Mamoru Yamamoto

◆ 著 書

- 1) 田中耕太郎. そうだったんだ! 脂肪酸一循環器疾患との深い関係. 伊藤 浩編. 東京: 文光堂; 2013. 脳血管疾患を予防します; p. 115-9.
- 2) 田中耕太郎. イヤーノート 2014 年版 (第 23 版) 内科・外科編. 岡庭 豊他編. 東京: メディックメディア; 2013. 脳血管障害; p. J81-93.
- 3) 田中耕太郎. 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No.26. 大阪: 日本臨牀社; 2013. 境界領域梗塞; p. 137-42.
- 4) 高嶋修太郎. 今日の治療指針 2013. 山口 徹, 北原光夫, 福井次矢編. 東京: 医学書院; 2013. 無症候性脳血管障害 (未破裂脳動脈瘤を除く); p. 793-4.
- 5) 高嶋修太郎. 別冊日本臨床 神経症候群 (第 2 版) I. 東京: 日本臨牀社; 2013. 慢性腎臓病と脳血管障害; p. 518-22.
- 6) 道具伸浩, 田中耕太郎. 今日の神経疾患治療指針. 第 2 版. 水澤英洋他編. 東京: 医学書院; 2013. 抗凝固療法; p. 110-5.

◆ 原 著

- 1) Sumi S, Origasa H, Houkin K, Terayama Y, Uchiyama S, Daida H, Shigematsu H, Goto S, Tanaka K, Miyamoto S, Minematsu K, Matsumoto M, Okada Y, Sato M, Suzuki N. Modified Essen stroke risk score for predicting recurrent cardiovascular events development and validation. Int J Stroke. 2013 Jun;8(4):251-7.
- 2) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 頭頸部癌患者で放射線治療後に発症する頸動脈病変に対する診療実態の検討. 脳卒中. 2013 Jul ; 35(4) : 269-73.

◆ 症例報告

- 1) Taguchi Y, Fushiki H, Takashima S, Tanaka K. Intracranial hypotension with positional hearing loss. Intern Med. 2013;52(13):1541-2.
- 2) Taguchi Y, Takashima S, Tanaka K. Koilonychia in a patient with subacute iron-deficiency anemia. Intern Med. 2013;52(20):2379.
- 3) Kawaguchi Y, Nakano M, Seki S, Yasuda T, Hori T, Tanaka K, Kimura T. Surgical treatment of lumbar vertebral collapse in a patient with Parkinson's disease: a case report. Eur J Orthop Surg Traumatol. 2013 Nov;23(suppl 2):S165-70.
- 4) 田口芳治, 野口 京, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 脳アミロイドアンギオパチーに認められた皮質微小梗塞. 神経内科. 2013 Mar ; 78(3) : 360-2.
- 5) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 類もやもや病における FLAIR 画像"ivy sign". 内科. 2013 Apr ; 111(4) : 764.
- 6) 田口芳治, 小西宏史, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 左椎骨動脈が大動脈弓から直接分岐する症例. 神経内科. 2013 Jun ; 78(6) : 729-30.
- 7) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. Alzheimer 型認知症に認められた皮質型クモ膜下出血. 内科. 2013 ; 112 : 1036.
- 8) 柴田真由子, 中村主計, 道具伸浩, 池田英二, 高橋 努, 田中耕太郎, 鈴木道雄. 卵巣奇形腫を伴わず身体症状が軽微であった抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例. 精神科. 2013 Jul ; 23(1) : 105-11.

◆ 総 説

- 1) 田中耕太郎. 日本人にとってスタチンによる LDL-C の厳格管理は果たして安全かつ有効か? CORE JOURNAL 循環器. 2013 Jun ; 3 : 57.
- 2) 田中耕太郎. n-3 多価不飽和脂肪酸と脳卒中および認知症の発症予防－臨床科学的エビデンス. 内分泌・糖尿病・代謝内科. 2013 Jun ; 36(6) : 534-9.
- 3) 田中耕太郎. 脳梗塞急性期の病態と治療のターゲット. 臨床神経. 2013 Nov ; 53(11) : 1159-62.
- 4) 高嶋修太郎. 意識障害. Clinical Neuroscience. 2013 ; 31 : 538-9.
- 5) 高嶋修太郎. 一過性脳虚血発作 (TIA) の鑑別診断と除外診断の進め方. Progress in medicine. 2013 ; 33 : 1709-12.

◆ 学会報告

- 1) Takashima S, Taguchi Y, Dougu N, Tanaka K. The clinical features of patients with recurrent transient ischemic attacks. International TIA/ACVS Conference; 2013 Nov 15; Tokyo.
- 2) Asahi T, Sato M, Kajimoto H, Oyama G, Taira T, Hayashi A, Fujii M, Takashima S, Kuroda S. Clinical multicenter trial for the treatment of cervical dystonia using the hanger reflex - interim report -. Quadrennial Meeting of WSSFN; 2013 May 27-30; Tokyo.
- 3) Asahi T, Sato M, Kajimoto H, Oyama G, Taira T, Hayashi A, Fujii M, Takashima S, Kuroda S. Clinical application of the hanger reflex for the treatment of cervical dystonia - interim report of the multicenter trial -. INS 11th World Congress; 2013 Jun 8-13; Berlin.
- 4) Asahi T, Sato M, Kajimoto H, Oyama G, Taira T, Hayashi A, Fujii M, Takashima S, Kuroda S. Clinical multicenter trial for the treatment of cervical dystonia using the hanger reflex - interim report -. 15th WFNS world Congress of Neurosurgery; 2013 Sep 8-13; Seoul.
- 5) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防－Risk & Benefit からみた抗血小板療法－. 第 33 回日本脳神経外科コンgres総会ランチョンセミナー ; 2013 May 11 ; 大阪.
- 6) 田中耕太郎. 脳梗塞急性期の病態と治療のターゲット. 第 54 回日本神経学会学術大会シンポジウム「脳梗塞急性期治療の最前線」; 2013 May 31 ; 東京.
- 7) 田中耕太郎. 頸動脈狭窄症に対する今後の内科治療. 第 22 回日本脳ドック学会総会ランチョンセミナー ; 2013 Jun 22 ; 仙台.
- 8) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防－日本人にとって最適な抗血小板療法とは. 日本内科学会北陸支部 第 60 回生涯教育講演会 ; 2013 Sep 1 ; 金沢.
- 9) 田中耕太郎. 脳主幹動脈狭窄病変に対する今後の内科治療. 第 25 回日本脳循環代謝学会総会ランチョンセミナー ; 2013 Nov 2 ; 札幌.
- 10) 田中耕太郎. 日常診療に潜む危険な頭痛－自験例から学んだこと－. 第 41 回日本頭痛学会総会イブニングセミナー ; 2013 Nov 15 ; 盛岡.
- 11) 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 温井孝昌, 平野恒治, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 高ホモシス테인血症を伴う脳梗塞の特徴と MTHFR 遺伝子の C677T 多型. 第 38 回日本脳卒中学会総会 ; 2013 Mar 21 ; 東京.
- 12) 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 温井孝昌, 平野恒治, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 同一症状を繰り返す一過性脳虚血発作の臨床像と画像所見. 第 54 回日本神経学会学術大会 ; 2013 May 30 ; 東京.
- 13) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎, 大原一将, 沼 哲之, 中川圭子, 平井忠和, 井上 博. 発作性心房細動による心原性脳塞栓症の肺静脈径の検討 : 非心原性脳梗塞との比較. 第 38 回日本脳卒中学会総会 ; 2013 Mar 21-23 ; 東京.
- 14) 田口芳治, 高嶋修太郎, 山本真守, 林 智宏, 吉田幸司, 小西宏史, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 田中耕太郎. Cerebral microbleeds と多価不飽和脂肪酸の関連についての検討. 第 54 回日本神経学会総会 ; 2013 May 29-Jun 1 ; 東京.
- 15) 田口芳治. パーキンソン病における camptocormia と傍脊柱筋の性状との関係. 第 50 回日本リハビリテーション医学会総会 ; 2013 Jun 13-15 ; 東京.
- 16) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 乳癌に対する化学療法中に発症したフェニトイン中毒の 1 例. 第 136 回日本神経学会東海北陸地方会 ; 2013 Jun 29 ; 名古屋.
- 17) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 当科おける

プラミペキソール徐放錠の有効性の検討. 第7回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres; 2013 10-12; 東京.

- 18) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. Cerebral microbleeds と多価不飽和脂肪酸の関連についての部位の検討. 第25回日本脳循環代謝学会総会; 2013 Nov 1-2; 札幌.
- 19) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 温井孝昌, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 脳梗塞患者における cerebral microbleeds に関連する因子の検討. 第31回日本神経治療学会総会; 2013 Nov 21-23; 東京.
- 20) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田口芳治, 温井孝昌, 吉田幸司, 小西宏史, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. 眼窩先端症候群を生じ, 失明状態に対してポリコナゾールが有効であった侵襲性アスペルギルス症の1例. 第221回日本内科学会北陸地方会; 2013 Sep 4; 金沢.
- 21) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 山本真守, 林 智宏, 吉田幸司, 小西宏史, 平野恒治, 温井孝昌, 田口芳治, 田中耕太郎. 視神経炎が先行し, 潰瘍性大腸炎に合併した CLIPPERS の1例. 第41回日本頭痛学会総会; 2013 Nov 15-16; 盛岡.
- 22) 温井孝昌, 林 智宏, 山本真守, 吉田幸司, 小西宏史, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 水田依久子, 水野敏樹, 田中耕太郎. 急性の多発性脳梗塞で発症した CADASIL の1例. 第135回日本神経学会東海北陸地方会; 2013 Mar 16; 名古屋.
- 23) 温井孝昌, 林 智宏, 山本真守, 吉田幸司, 小西宏史, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. ヘルペス脳炎と非ヘルペス性辺縁系脳炎の比較検討. 第54回日本神経学会学術大会; 2013 May 29-Jun 1; 東京.
- 24) 温井孝昌, 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 小西宏史, 吉田幸司, 林 智宏, 山本真守, 田中耕太郎. ステロイドの併用で改善した重症化膿性脳室炎の1例. 第136回日本神経学会東海北陸地方会; 2013 Jun 29; 名古屋.
- 25) 温井孝昌, 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 田中耕太郎. 神経内科におけるB型肝炎ウイルス既往感染例の検討. 第31回日本神経治療学会総会; 2013 Nov 21-23; 東京.
- 26) 小西宏史, 田口芳治, 山本真守, 林 智宏, 吉田幸司, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. ワルファリンからダビガトランへ変更した際に生じた内包膝部梗塞の一例. 第136回日本神経学会東海北陸地方会; 2013 Mar 16; 名古屋.
- 27) 小西宏史, 吉田幸司, 田口芳治, 山本真守, 林 智宏, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 感音性難聴を併発した水痘帯状疱疹ウイルス髄膜炎の1例. 第137回日本神経学会東海北陸地方会; 2013 Nov 2; 金沢.
- 28) 吉田幸司*, 小西宏史, 林 智宏, 山本真守, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 診断に苦慮し, 造影 CT が有用であった脊髄硬膜動静脈瘻の1例. 第220回日本内科学会北陸地方会; 2013 Jun 9; 富山.
- 29) 吉田幸司*, 田中耕太郎, 新井祐一, 畑 由紀子, 西田尚樹. FTLT-tau と考えられた1剖検例. 第5回日本神経病理学会東海・北陸地方会; 2013 Sep 7; 富山.
- 30) 吉田幸司*, 小西宏史, 山本真守, 林 智宏, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 著明な片側性硬膜肥厚を認めた MPO-ANCA 陽性肥厚性硬膜炎の1例. 第41回日本頭痛学会総会; 2013 Nov 15; 盛岡.
- 31) 林 智宏, 温井孝昌, 山本真守, 吉田幸司, 小西宏史, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 脳幹型 Reversible Posterior Luekoencephalopathy Syndrome を呈した高血圧性脳症の1例. 第136回日本神経学会東海北陸地方会; 2013 Jun 29; 名古屋.
- 32) 山本真守, 道具伸浩, 温井孝昌, 林 智宏, 吉田幸司, 小西宏史, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. HSV 脳炎様の画像を呈した神経梅毒の1例. 第219回日本内科学会北陸地方会; 2013 Mar 10; 金沢.
- 33) 山本真守, 道具伸浩, 温井孝昌, 林 智宏, 吉田幸司, 小西宏史, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. フィンゴリモード中止後, 再発を繰り返した多発性硬化症の1例. 第137回日本神経学会東海北陸地方会; 2013 Nov 2; 金沢.
- 34) 旭 雄士, 佐藤未知, 梶本裕之, 大山彦光, 平 孝臣, 林 明人, 藤井正美, 高嶋修太郎, 黒田 敏, 遠藤俊郎. ハンガー反射を利用したデバイスによる痙性斜頸治療法—多施設共同研究の中間報告—. 第52回日本定位・機能神経外科学会; 2013 Jan 18-19; 岡山.
- 35) 旭 雄士, 中道尚美, 高岩亜輝子, 高 正圭, 桑山直也, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 黒田 敏. パーキンソン病に対する両側視床下核刺激術は高次脳機能を改善し得る. 日本脳神経外科学会第72回学術総会; 2013 Oct 16-18; 横浜.
- 36) 三浦佳代子, 松井三枝, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. パーキンソン病における系列位置効果と意味的クラスタリング方略利用の効果. 第18回認知神経科学学会学術集会; 2013 Jul 27-28; 東京.
- 37) 三浦佳代子, 松井三枝, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. パーキンソン病患者における身体活動及び余暇活動と認知機能. 精神症状の関連. 第7回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres; 2013 Oct 10-12; 東京.
- 38) 三浦佳代子, 松井三枝, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. パーキンソン病患者における身体および余暇活動の実態と認知機

能，精神症状との関連．第 37 回高次脳機能障害学会学術総会；2013 Nov 29；松江．

- 39) 中道尚美，高嶋修太郎，高岩亜輝子，田中耕太郎．パーキンソン病の重症度と認知機能障害．第 13 回北陸言語聴覚学術集会；2013 Oct 6；福井．

◆ その他

- 1) 田中耕太郎．日本人にとって最も有用な抗血小板療法を考える．彦根医師会講演会；2013 Jan 10；彦根．
- 2) 田中耕太郎．加齢の医学（7）認知症を予防し健康に．北日本新聞（朝刊）．2013 Jan 13：13．
- 3) 田中耕太郎．高純度 EPA 製剤の位置づけ．オンデマンド web セミナー動脈硬化性疾患の治療戦略；2013 Jan 15；富山．
- 4) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防－日本人にとって最も有用な抗血小板療法とは．第 4 回 Fighting Vascular Events in KANAZAWA；2013 Jan 19；金沢．
- 5) 田中耕太郎．加齢の医学（11）運動麻痺に多様な症状．北日本新聞（朝刊）．2013 Feb 6：11．
- 6) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防－日本人にとって最も有用な抗血小板療法とは－．第 9 回多摩 Stroke 研究会；2013 Feb 14；立川．
- 7) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防－日本人にとって最も有用な抗血小板療法とは－．信州脳卒中 SCRUM PROJECT 中継エリア；2013 Mar 8；松本．
- 8) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防－日本人にとって最も有用な抗血小板療法とは－．Fightinh Vascular Events in 東三河；2013，2013 Mar 15；豊橋．
- 9) 田中耕太郎．急性期脳卒中患者の救急処置と治療－挨拶．平成 25 年度初期臨床研修医対象シミュレーション研修会；2013 Apr 9；富山．
- 10) 田中耕太郎．心原性脳塞栓症の再発予防－最新の戦略－．第 426 回高岡市内科医会学術講演会；2013 Apr 10；高岡．
- 11) 田中耕太郎．てんかん 高齢発症に注意．北日本新聞（朝刊）．2013 Apr 10：11．
- 12) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防における抗血小板療法のベネフィットとリスク．脳卒中地域連携プロジェクト SCRUM 脳卒中治療 Update；2013 Apr 19；北九州．
- 13) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防における抗血小板療法のベネフィットとリスク．春日部市医師会学術講演会；2013 May 23；春日部．
- 14) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防における抗血小板療法のリスクとベネフィット．Stroke Prevention Forum in Kushiro；2013 Jun 14；釧路．
- 15) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防－Risk & Benefit からみた抗血小板療法．学術講演会－脳卒中地域医療連携事業 SCRUM－；2013 Jun 18；小矢部．
- 16) 田中耕太郎．心原性脳塞栓症：最新の話．第 4 回 National Stroke Summit；2013 Jun 29；東京．
- 17) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防における抗血小板療法のベネフィットとリスク．脳疾患フォーラム in 新発田；2013 Jul 4；新発田．
- 18) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防における抗血小板療法のベネフィットとリスク．第 28 回旭川脳循環・内科フォーラム；2013 Jul 12；旭川．
- 19) 田中耕太郎．脳血管障害の再発予防戦略における EPA の役割．高純度 EPA Stroke セミナー；2013 Jul 18；名古屋．
- 20) 田中耕太郎．グリア細胞と神経疾患および iPS 細胞を利用した神経治療への展開－開会の辞．第 56 回神経内科懇話会；2013 Aug 3；東京．
- 21) 田中耕太郎．心原性脳塞栓症の再発予防－新規経口抗凝固薬の評価と位置づけ－．Fukui Stroke Network Meeting；2013 Aug 8；福井．
- 22) 田中耕太郎．脳血管障害の再発予防戦略における EPA の役割．城東脂肪酸研究会－脳卒中治療戦略を脂肪酸から考える－；2013 Sep 12；東京．
- 23) 田中耕太郎．心原性脳塞栓症の再発予防－最新の治療－．富山県 Care AF 講演会；2013 Sep 18；富山．
- 24) 田中耕太郎，坂井信幸．パネルディスカッション：病態・合併症別の抗血小板薬使用方法．Neurovascular Forum 2013 日本人のための脳卒中治療；2013 Sep 21；東京．
- 25) 田中耕太郎．脳梗塞再発予防－リスクとベネフィットからみた最適な抗血小板療法．Fighting Vascular Events in Mito 2013；2013 Oct 3；水戸．
- 26) 田中耕太郎．心血管イベントの新たなリスクマーカー－EPA/AA 比の意義と今後の展望を考える－．全国エパデー講演会；2013 Oct 19；東京．

- 27) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防－日本人にとって最適な抗血小板療法とは－. Fighting Vascular Events in Morioka ; 2013 Oct 25 ; 盛岡.
- 28) 田中耕太郎. 脳梗塞再発予防－Risk & Benefit からみた抗血小板療法. SCRUM in 魚津 (脳卒中地域医療連携プロジェクト) ; 2013 Oct 29 ; 魚津.
- 29) 田中耕太郎. 脳卒中－何でも質問コーナー. 第7回脳卒中公開講座「脳卒中はごめんだ！」; 2013 Nov 30 ; 富山.
- 30) 田中耕太郎. 会長挨拶. 平成25年度富山県難病医療連絡協議会 ; 2013 Dec 5 ; 富山.
- 31) 高嶋修太郎. 実臨床における認知症診療のポイント. ADカンファレンス in 魚津 ; 2013 Jan 22 ; 魚津.
- 32) 高嶋修太郎. 神経難病の最新治療と在宅医療について. 平成24年度主任ケアマネジャー医療介護連携研修 ; 2013 Jan 24 ; 富山.
- 33) 高嶋修太郎. 心原性脳塞栓症と心房細動. 平成24年度第3回富山脳卒中地域連携講演会 ; 2013 Feb 14 ; 富山.
- 34) 高嶋修太郎. 精神医学と神経学の接点：精神症状に対する神経内科学的アプローチ. 第9回富山臨床精神神経医学研究会 ; 2013 Feb 16 ; 富山.
- 35) 高嶋修太郎. 認知症の医学的理解. 平成24年度認知症ケア研修 ; 2013 Feb 18 ; 富山.
- 36) 高嶋修太郎. 脳梗塞を予防する, 最新の薬物治療～脂質管理を中心に～. 小矢部市医師会学術講演会 ; 2013 Feb 19 ; 小矢部.
- 37) 高嶋修太郎. パーキンソン病の最新治療について. パーキンソン病医療セミナー ; 2013 Apr 13 ; 富山.
- 38) 高嶋修太郎. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎について～診断と治療～. 富山県社会福祉協議会療養相談会 ; 2013 Jul 13 ; 富山.
- 39) 高嶋修太郎. 実臨床における認知症診療のポイント. ADカンファレンス in 高岡 ; 2013 Aug 29 ; 高岡.
- 40) 高嶋修太郎. 認知症と高齢者の"うつ"について. 平成25年度ホームヘルパー技術向上研修 ; 2013 Sep 9 ; 富山.
- 41) 高嶋修太郎. 認知症の医学的理解. 平成25年度認知症ケア研修 ; 2013 Oct 28 ; 富山.
- 42) 高嶋修太郎. 認知症の医学的理解. 平成25年度認知症ケア研修 ; 2013 Nov 11 ; 富山.
- 43) 高嶋修太郎. 実臨床における認知症診療のポイント. ADカンファレンス ; 2013 Dec 6 ; 富山.
- 44) 高嶋修太郎. パーキンソン病の治療戦略について. 最新のPDに関する話題－治療戦略を考える会－ ; 2013 Dec 7 ; 金沢.
- 45) 田口芳治. 認知症の早期発見と予防・治療. 第9回富山県民の健康を考えるセミナー ; 2013 Feb 23 ; 富山.
- 46) 田口芳治. 神経難病に関する基礎知識:神経難病の理解. 難病患者等ホームヘルパー養成講習会 ; 2013 Feb 26 ; 富山.
- 47) 田口芳治. 当科におけるアボネックスの使用経験. 富山県多発性硬化症講演会 ; 2013 Feb 27 ; 富山.
- 48) 田口芳治. 頸部放射線治療後の頸動脈病変とその診療実態. 第5回 Stroke Consortium In Tokyo ; 2013 Mar 9 ; 東京.
- 49) 田口芳治. 高齢者診療に潜む課題. 高齢者医療を考える会 ; 2013 Jun 10 ; 富山.
- 50) 田口芳治. 当科におけるメモリー錠の使用経験. 第5回富山神経セミナー ; 2013 Jun 28 ; 富山.
- 51) 田口芳治. ミラペックス LA の使用経験. 富山パーキンソン病フォーラム 2013 ; 2013 Jul 3 ; 富山.
- 52) 田口芳治. 心原性脳塞栓症の再発予防. (社)日本脳卒中協会共同事業 2013 ストップ! NO 卒中プロジェクト 全国一斉エリア会議 ; 2013 Jul 24 ; 富山.
- 53) 田口芳治. 抗血小板薬と新規抗凝固薬の適正使用について. 富山県 Care AF 講演会 ; 2013 Sep 18 ; 富山.
- 54) 田口芳治. 若年性脳梗塞について. 第29回神経疾患をまなぶ会 ; 2013 Oct 7 ; 富山.
- 55) 田口芳治. cerebral microbleeds と多価不飽和脂肪酸の関係についての検討. 全国エパデール研究会 ; 2013 Oct 19 ; 東京.
- 56) 田口芳治. Cerebral microbleeds と多価不飽和脂肪酸の関連についての検討. 富山 EPA フォーラム 2013 ; 2013 Oct 30 ; 富山.
- 57) 田口芳治. 繰り返し脳梗塞を発症した右内頸動脈狭窄症の1例. 立山脳卒中セミナー ; 2013 Nov 29 ; 富山.
- 58) 吉田幸司*, 小西宏史, 山本真守, 林 智宏, 温井孝昌, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 秋岡直樹, 桑山直也, 野口 京, 田中耕太郎. 長期間診断がつかず造影 CT が診断に有用であった脊髄硬膜動静脈瘻の1例. 第7回富山脊椎画像診断研究会 ; 2013 Mar 16 ; 富山.
- 59) 吉田幸司*, 高嶋修太郎, 小西宏史, 道具伸浩, 田口芳治, 山本真守, 林 智宏, 温井孝昌, 高岩亜輝子, 田中耕太郎. 球麻痺症状優位の運動ニューロン疾患に前頭葉機能低下を伴ったと考えられる1例. 第51回北陸神経内科懇話会 ; 2013 Jun 8 ; 金沢.
- 60) 山本真守, 道具伸浩, 温井孝昌, 林 智宏, 吉田幸司, 小西宏史, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎. 失行を認め, 進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症のオーバーラップと考えた1例. 北陸パーキンソン病研究会 ; 2013 Jul

6 ; 金沢.